

「未来につなぐ下水道事業プラン」(町田市下水道事業経営戦略)

2023年度の事業進捗状況管理表

※「経営戦略事業(小施策)」は、本編P57・58と同じ内容です。

基本方針	目的	経営戦略事業(小施策)	担当課	目標	2023年度末の目標	2023年度の事業内容	2023年度中間確認(9月末の状況)	2023年度未進捗見込み	2023年度達成状況	2023年度実績	備考	
1 環境に配慮した施設整備・より良い環境づくりの推進	(1) 住環境の改善	① 汚水管渠整備事業	下水道整備課	水洗化率 100% (2026年度末)	①整備延長 L=2.2km ②合併処理浄化槽への切替え基数 16基	①市街化区域、市街化調整区域及び道路関連事業等に伴う汚水管整備工事実施 ・汚水枝線工事 L=2.2km ②事業内容 ・配管費補助の継続 ・維持管理費補助の案内に、単独処理浄化槽への補助金廃止予定を明記し、合併処理浄化槽への転換を促進 ・啓発活動実施	①契約した工事については、順調に推移している。 未契約工事については、要望者との調整や道路事業による用地取得などにより工事着手できない工事。 契約件数 5件 未契約件数 5件 ②確認状況 ・合併処理浄化槽設置補助 申請 2件、うち実施完了 1件 ・維持管理補助の案内に、単独処理浄化槽への補助金廃止予定(2026年度)を明記し、送付済 ・設置補助案内送付 6/14発送 78件	①中間確認で実施中の工事については完了予定。 ②引き続き啓発活動を続け、合併処理浄化槽への切替え基数増加を目指す。				
		② 未接続家屋への汚水管接続の普及啓発指導	下水道整備課		汚水管接続件数 30件 (供用開始から3年以上経過している家屋)	・年間を通じて市内全域にある未接続家屋に普及活動を行う。 ・供用開始して間もない家屋に普及活動を行う。	・2022年度に汚水管の整備が完了し、2023年度に供用が開始された地区の対象となる37件に「公共下水道(汚水)の供用開始についてのお知らせ」を送付し、公共下水道への接続を促した。 接続件数(供用開始して3年以上の家屋)9件	・公共下水道に未接続の対象に公共下水道接続の案内文書を送付し、接続を促す。				
		③ グリーストラップの適正な維持管理方法の周知	下水道管理課		管清掃延長(緊急) 0.52km削減	管清掃延長 3.92km以下	油脂の流出による汚水管の閉塞を防ぐために飲食店などを訪問し、グリーストラップの点検、清掃などの適正な維持管理方法を周知していき、油脂を起因とした詰まりによる管清掃延長を減らす。 2023年度は管清掃延長が3.92km以下となるように周知・啓発を行う。	汚水管の油脂点検調査を6月に約120箇所実施し、油脂が付着している箇所を把握した。 この調査結果を基に、把握した箇所周辺でグリーストラップの適正な維持管理方法を周知するため、店舗訪問する飲食店を抽出した。 上半期の管清掃延長は1.47kmで、目標値以内に収まっている。	管清掃延長が目標値内に収まるよう、抽出した飲食店を訪問しグリーストラップの適正な維持管理方法を周知する。 また、周知後には油脂点検調査を実施し、周知効果を検証する。			グリーストラップとは、油脂等を下水道へ流入させないための装置
	(2) 河川の水質向上への貢献	① 下水処理水の水質向上		水再生センター	高効率散気装置 導入率89%	高効率散気装置 導入率39%	現在、高度処理化されていない、又は高効率の散気装置が導入されていない水処理施設が鶴見川クリーンセンターには6池、成瀬クリーンセンターには6池ある。 2023年度はそのうちの1池(鶴見川クリーンセンター分)を高効率散気装置に交換する。	鶴見川クリーンセンター1池について、2024年1月に従来の散気装置から高効率散気装置に交換する予定。	高効率散気装置導入率39%を達成見込みである。			
				下水道管理課		水路点検延長 12km	水路の効率的かつ効果的な維持管理を推進するため、2022年度に作成した水路台帳を基に水路点検要領を作成し、水路修繕計画策定のための点検を実施する。	水路修繕計画の策定のため、9月に水路等点検調査及び点検要領策定業務委託を契約した。 ○契約：2023年9月21日 工期：2024年3月8日	点検要領を策定し、要領に基づき点検を実施する。点検結果を基に、水路構造物の劣化状況を取りまとめる。			
				下水道整備課		浄化槽維持管理費補助制度対象者の制度 利用率 60%	・浄化槽維持管理費補助制度の利用促進 ・三大義務(保守点検・清掃・法定検査)の未実施者に対する啓発活動実施	・浄化槽維持管理費補助金対象者に申請書等送付 6/14発送 1,416件	・啓発活動については、2021年以降三大義務(保守点検・清掃・法定検査)のいずれも未実施の者を対象として抽出し、啓発文書を送付予定。			

「未来につなぐ下水道事業プラン」(町田市下水道事業経営戦略)

2023年度の事業進捗状況管理表

※「経営戦略事業(小施策)」は、本編P57・58と同じ内容です。

基本方針	目的	経営戦略事業(小施策)	担当課	目標	2023年度末の目標	2023年度の事業内容	2023年度中間確認(9月末の状況)	2023年度未進捗見込み	2023年度達成状況	2023年度実績	備考	
	(3) 地球温暖化対策と資源の循環利用	① 温室効果ガスの削減	水再生センター	第3計画期間(2024年度末)5カ年平均25%減	基準排出量より2020~2024年平均で、25%削減	効率的な機器の運転等により、エネルギー使用を抑制し、温室効果ガス排出量の削減を図る。 成瀬クリーンセンターでは、安定的な高温(850℃)での汚泥焼却炉運転により、削減効果の高い温室効果ガス(N ₂ O)を定常的に削減する。 鶴見川クリーンセンターでは、町田市バイオエネルギーセンターで発電したCO ₂ 排出量が少ない電力を利用することでCO ₂ を削減する。	成瀬クリーンセンターでは汚泥の高温焼却(高温焼却によるN ₂ O削減)による温室効果ガスの削減に努め、約35%削減した。 鶴見川クリーンセンターでは省エネに努めて電力使用量を低減することに加え、町田市バイオエネルギーセンターで発電したCO ₂ 低排出の電力を利用することで約94%削減した。	様々な省エネ施策を着実に実行することにより、成瀬クリーンセンターでは約30%、鶴見川クリーンセンターでは約90%の温室効果ガスの削減が見込まれる。 水再生センター全体として、2023年度の目標である25%の削減を達成できる見込みである。				
		② エネルギー・資源の有効利用	水再生センター	再資源化率99.5%	再資源化率98.5%	下水処理場から発生する全ての産業廃棄物(汚泥焼却灰や沈砂汚泥など)について、建設資材などへの再資源化を実施する。 排ガスのエネルギー(熱・圧力)を活用した「過給式流動燃焼システム」の導入に向け、鶴見川クリーンセンター汚泥焼却設備更新工事として、既設1号焼却炉の撤去工事を実施する。	汚泥焼却灰 100% 沈砂汚泥 100% その他 廃棄物 100% 全体の再資源化率は100%となっている。 鶴見川クリーンセンター汚泥焼却設備更新工事について、排ガスのエネルギーを活用した「過給式流動燃焼システム」の導入に向け、予定通り既設1号焼却炉の撤去工事に着手した。	引き続き再資源化に努め再資源化率目標98.5%以上を達成できる見込みである。 鶴見川クリーンセンター汚泥焼却設備更新工事について、2023年度中に撤去工事を完了し、機器製作をすすめていく。			沈砂池更新工事に伴い成瀬クリーンセンターから搬出する沈砂汚泥に関しては機器の設置が終了するまでの期間、施工業者にて搬出している。 新たな機器が設置され次第再資源化している業者にサンプルを送り受入れ先を探す。	
2 災害に強いまちづくりの推進・安心な暮らしの構築	(1) 浸水対策の推進	① 浸水対策事業	下水道整備課	整備箇所数22箇所	整備箇所数3箇所	・浸水対策として、雨水管整備工事実施 【当年度分】 ①本町田東1号雨水幹線その5工事 【繰越分】 ①本町田東1号雨水幹線その4工事 ②鶴間八丁目雨水枝線その2工事	・【当年度分】①の工事については、契約済みであるが工事実施に際し支障となる他企業埋設物の移設に時間を要し、予定よりも着工時期が遅れが生じている。 【繰越分】①の工事については、工事完了に向けて進めている。②の工事については、2度の入札不調を経て2023年3月に契約となったが、隣接営業店舗との施工時間等の調整に時間を要し、工程が遅れが生じている。繰越分については2023年度内の工事完了に向けて進めている。 【当年度分】 契約件数 1件 【繰越分】 契約件数 2件	・【当年度分】①の工事については、年度内完了、年度目標の達成が困難な状況。 【繰越分】①②の工事については完了予定。				
			下水道経営総務課			・境川について、境川流域総合治水対策協議会に参加し、整備状況を確認するとともに、河川管理者に早期整備を要望する。 ・鶴見川について、鶴見川流域水協議会に参加し、整備状況の確認を行う。	・境川について、神奈川県藤沢土木事務所、神奈川県厚木土木事務所東部センター及び津久井治水センターを訪問し、整備状況を確認するとともに早期整備を要望した。 ・鶴見川については、鶴見川流域水協議会に3回参加して、「今年度の鶴見川流域水マスタープラン」の推進方針について情報を共有した。	・境川について、引続き河川管理者と連絡調整等を行い情報収集を行うとともに、整備状況を確認する。 ・鶴見川について、引続き鶴見川流域水協議会に参加し情報収集を行うとともに、整備状況を確認する。				
			下水道管理課			雨水浸透設備設置補助件数10件	個人住宅に対して、雨水浸透設備設置を設置する際に、補助金を交付し、雨水浸透設備の整備促進を図り、浸水被害の軽減に寄与する。	個人住宅に対して、1件の補助を実施し、4件の補助交付を決定した。	目標の10件を達成できるように引き続き周知を行う。			
			下水道部全課			水のう袋を配布し自助を啓発する	市民センターや市立の小中学校等に水のう袋を支給して雨水流入の防止に努めるように協力依頼を行う。	6月の「浸水対策強化月間」における取り組みとして、市民センターや市立の小中学校等へ水のう袋を支給するとともに屋外流しの点検等を依頼した。	今後も豪雨が発生した際には広報活動を実施する等、自助・共助意識の向上を図っていく。			
			下水道部全課			豪雨前のパトロールの実施2回	梅雨入り前、台風シーズン前に水路、下水道施設の点検及び清掃を行い、浸水被害の低減を図る。 2023年度は、2回パトロールを行う。	大雨や台風が予測された場合のパトロールを上半期に4回行い、点検清掃により浸水被害の低減を図った。	今後も大雨が予測された場合は、随時点検清掃を行っていく。			
			② 下水道事業継続計画(水害編)の運用管理及び訓練の実施	下水道部全課	人命を守る犠牲者ゼロ	訓練実施回数2回	・下水道部では下水道BCP(水害編)を適切に運用する。 ・町田市総合水防訓練(図上訓練)に合わせて下水道BCP(水害編)に基づく訓練を実施し、下水道部職員の非常時対応の習熟を図る。 ・下水道BCP(水害編)を必要に応じて修正・更新作業を行う。	・下水道BCM部会を4回開催し、下水道BCPの運用管理を行った。 ・6月に町田市総合水防訓練(実動訓練)を実施した。 ・7月に町田市総合水防訓練(図上訓練)に合わせて下水道BCP(水害編)に基づく訓練を実施した。	・引続き1~2ヶ月に1回の頻度で下水道BCM部会を開催し、下水道BCPの適切な運用管理を行う。			

「未来につなぐ下水道事業プラン」(町田市下水道事業経営戦略)

2023年度の事業進捗状況管理表

※「経営戦略事業(小施策)」は、本編P57・58と同じ内容です。

基本方針	目的	経営戦略事業(小施策)	担当課	目標	2023年度末の目標	2023年度の事業内容	2023年度中間確認(9月末の状況)	2023年度未進捗見込み	2023年度達成状況	2023年度実績	備考	
2 災害に強いまちづくりの推進・安心な暮らしの構築	(2) 地震対策の推進	① 成瀬クリーンセンターの耐震化	水再生センター	耐震化率81.5%	耐震化率72.4% (現状値:72.4%)	耐震補強工事 ・汚泥処理棟 (2022~2024債務負担行為)	汚泥処理棟の土木構造物の耐震補強工事が完了した。 現在汚泥処理棟の建築構造物の耐震補強工事を行っており、予定通り進捗している。 ※土木構造物：地下階 ※建築構造物：地上階	2023年度末時点では、工事施工途中である。引き続き汚泥処理棟の建築構造物の耐震補強工事を進め、予定通り2024年度に工事完了する見込みである。				
		② 鶴見川クリーンセンター・鶴川ポンプ場の耐震化	水再生センター	耐震化率 鶴見川CC71.2% 鶴川ポンプ場100%	耐震化率 鶴見川CC21.9% (現状値:21.9%)	耐震補強工事 ・焼却炉棟、煙突基礎 (2023~2024債務負担行為) 耐震診断 ・水処理棟(1~2系列) ・鶴川ポンプ場	耐震補強工事 焼却炉棟、煙突基礎の耐震補強工事については、10月の契約に向けて手続きを進めている。 耐震診断 4月に水処理棟、鶴川ポンプ場の耐震診断業務委託を契約した。 現地調査により採取した検体のコンクリート強度を解析し、調査を進めている。	耐震補強工事 耐震補強工事に着手し、工程管理をしながら2024年度の完了に向けて施工を進める。 耐震診断 2023年度末に耐震診断業務を完了する見込みである。			鶴川ポンプ場(ポンプ棟)は、2029年度耐震補強工事完了予定。	
		③ 汚水管の耐震化	下水道整備課	汚水管の重要な幹線等の耐震化率100% (2021年度末)	耐震化率 100% (目標達成済)	・汚水管の重要な幹線等の耐震化は耐震化率100%で事業完了	・汚水管の重要な幹線等の耐震化は耐震化率100%で事業完了	・汚水管の重要な幹線等の耐震化は耐震化率100%で事業完了				
		④ 雨水管の耐震化	下水道整備課	雨水管の重要な幹線等の耐震化率100%	耐震診断実施 L=3.1km	・緊急輸送路などに布設され、かつ、液状化の可能性が高い雨水管の耐震化のため、雨水幹線の耐震診断実施	・契約した耐震診断調査については、順調に推移している。 契約件数 1件	・中間確認で実施中の調査委託については完了予定。				
		⑤ 避難施設へのマンホールトイレの整備	下水道整備課	整備済み避難施設数 71施設 (2025年度末)	整備済み避難施設数 59施設	・災害時における避難施設のトイレ機能確保のためマンホールトイレ整備工事実施 ①成瀬中央小学校、南つくし野小学校 ②木曾境川小学校、陸上競技場	・契約した工事については、順調に推移している。 契約件数 2件	・中間確認で実施中の工事については完了予定で、年度末目標を達成できる見込み。				
		⑥ 下水道事業継続計画(地震編)の運用管理及び訓練の実施	下水道部全課	訓練と見直し実施	訓練実施回数 2回	・下水道部では下水道BCP(地震編)を適切に運用する。 ・下水道BCP(地震編)に基づく訓練を実施し、下水道部職員の非常時対応の習熟を図る。 ・下水道BCP(地震編)を必要に応じて修正・更新作業を行う。	・下水道BCM部会を4回開催し、下水道BCPの運用管理を行った。	・引き続き1~2ヶ月に1回の頻度で下水道BCM部会を開催し、下水道BCPの適切な運用管理を行う。 ・10月及び11月に下水道対策部で訓練を実施する予定。				

「未来につなぐ下水道事業プラン」(町田市下水道事業経営戦略)

2023年度の事業進捗状況管理表

※「経営戦略事業(小施策)」は、本編P57・58と同じ内容です。

基本方針	目的	経営戦略事業(小施策)	担当課	目標	2023年度末の目標	2023年度の事業内容	2023年度中間確認(9月末の状況)	2023年度末進捗見込み	2023年度達成状況	2023年度実績	備考			
3 経営の効率化及び健全化・より良い下水道サービスの導入	(1) 効率的・効果的な維持管理の推進	① 状態監視保全の維持管理	水再生センター	1) 下水処理施設の 詳細調査件数 100件以上	下水処理施設の 詳細調査件数10件以上	成瀬クリーンセンターで直流電源設備の蓄電池、 鶴見川クリーンセンターで反応タンク設備の散気装置、 鶴川ポンプ場で汚水ポンプ設備など、 合計10件以上の下水処理施設の 詳細調査を実施する。	成瀬クリーンセンターで汚泥掻き寄せ機、 鶴見川クリーンセンターと鶴川ポンプ場で蓄電池盤、 合計3件の劣化状況の 詳細調査を実施した。3件共に、 機能が確保できていることを確認したが、 蓄電池盤の一部部品に劣化が見られた。	下半期に予定している7件の 詳細調査を計画的に実施し、 設備の劣化状況の把握に努め、 目標の詳細調査件数10件を 達成できる見込みである。						
			下水道管理課	2) 下水道管の点検・ 調査延長542km	調査延長 54km	「町田市ストックマネジメント計画」 の実施方針により点検・調査計画を 策定し、その優先順位に基づき、 管路施設の異常の有無を把握する ために、TVカメラ調査や目視調査 などの簡易的な調査を行う。 2023年度は、成瀬ブロックの 管路施設54kmの調査を行う。	下水道管路施設劣化状況簡易調査 業務委託の契約を締結した。現地 でのTVカメラ調査や目視調査など の簡易的な調査は、9月末におい て27kmを実施した。 ○契約：2023年6月2日 工期：2024年2月13日	残りの調査延長27kmは11月末 までに完了予定となっている。 引続き業務委託の進捗管理を徹底 し、調査結果の評価・分析を行い、 工期内の業務完了を目指す。						
		下水道管理課	② 腐食環境下にある 下水道管の点検	点検箇所数294箇所	点検箇所 27箇所	下水道管の腐食が予測される箇所 について、法令を遵守し定期的な 点検を実施する。 2023年度は、河川部の伏せ越し及 び、金井処理分区、三輪処理分区、 大蔵処理分区を対象に27箇所の 点検を行う。	公共下水道維持管理・管渠清掃 業務委託の契約を締結した。 点検業務の事前準備は7月までに 完了した。 ○契約：2023年4月1日 工期：2024年3月31日	引き続き業務委託の進捗管理を 徹底し、現場での点検を1月中に 実施する。また、点検結果のまと めを行い、工期内の業務完了を 目指す。						
	(2) 計画的な改築更新	③ 汚水管への浸入水対策	下水道部全課	調査地域19地域	調査地域 2地域	雨天時に浸入水の多い地区にお いて、原因究明のため取付管TVカ メラ調査、送煙調査、目視調査な どによる詳細調査を行い、確認さ れた不良箇所について改善を行っ ている。 2023年度は、原町田一丁目地内 の1地域において、管内に流量計を 設置し、降雨時における浸入水の 多い箇所を絞り込むことを目的と し、原因究明と改善計画の策定を 行う。 また、鶴川処理分区(西)の雨天 時浸入水が多い1地域において 詳細調査を行い、原因究明と改善 計画の策定を行う。	・原町田一丁目地内の雨天時浸入 水調査は、浸入水の流入箇所特 定のため職員による現場調査を 実施した。 ・鶴川処理分区(西)の雨天時浸入 水調査は業務委託の契約を締結 した。原因究明のために行う詳細 調査の計測器設置を行った。 ○契約：2023年9月19日 工期：2024年3月15日	・現地調査の結果をもとにカメラ 調査等の詳細調査を実施し、原 因究明と改善計画の策定を行う。 ・引続き業務委託の進捗管理を 徹底し、原因究明のため汚水マン ホール内に水位計や暗視カメラを 設置し、降雨時の汚水量や水位等 の詳細調査を実施する。また、 調査結果のまとめや不良箇所の 改善に向けた検討を行い、工期 内の業務完了を目指す。						
						水再生センター	「町田市ストック マネジメント計画」 に基づく改築更新の 実施	成瀬クリーンセンター 工事完了件数：2件 鶴見川クリーンセンター 工事完了件数：3件 (繰越事業)	成瀬クリーンセンター ・水処理設備工事(沈砂池) ・電気設備工事(沈砂池) 鶴見川クリーンセンター ・ポンプ設備工事(主ポンプ) ・汚泥処理設備工事(脱水機) ・電気設備工事(主ポンプ、汚 泥脱水設備)	成瀬クリーンセンター ・水処理設備工事(沈砂池) ・電気設備工事(沈砂池) 2件ともに予定通り進捗中。 鶴見川クリーンセンター ・ポンプ設備工事(主ポンプ) ・汚泥処理設備工事(脱水機) ・電気設備工事(主ポンプ、汚 泥脱水設備) 3件ともに予定通り進捗中。	成瀬クリーンセンター ・水処理設備工事(沈砂池) ・電気設備工事(沈砂池) 2件ともに2023年度中に完了 の見込みである。 鶴見川クリーンセンター ・ポンプ設備工事(主ポンプ) ・汚泥処理設備工事(脱水機) ・電気設備工事(主ポンプ、汚 泥脱水設備) 3件ともに2023年度中に完了 の見込みである。			
						下水道整備課		② 管渠の改築更新	改築工事実施 汚水 L=2.5km 雨水 L=0.1km	・「町田市ストックマネジメント計 画」に基づく改築更新工事実施	・契約した工事については、順調 に推移している。 契約件数 3件	・中間確認で実施中の工事につ いては完了予定。		